

欧州自動車産業ニュース

No. 949

2024年9月27日号



レオニの過半数資本、中国企業が取得 ラックスシェア、ケーブル事業は完全買収

EUと中国、EV追加関税巡る協議継続を確認

SKF、自動車事業の分離・上場計画を発表

現代自とシュコダ・グループ、水素分野の協力でMOU締結

© European Community

* PDFファイルでご覧の方は左のパレットの「しおり」を開き、見たいタイトルを選択して下さい。

■注意■

1. 本誌の使用は、お申込み登録いただいた住所の事業所内及びE-Mailアドレスに限り、他への配布・回覧・転送を固く禁じます。
2. 本誌のご利用によって生じたトラブル・損失・損害に関し、当社は一切の責任を負いません。

FBC Business Consulting GmbH August-Schanz-Str.8, 60433 Frankfurt/M. (Germany)
Tel : 069-5480950, Fax : 069-54809525, E-mail : fbc@fbc.de, <http://www.fbc.de>

Rechtsform: GmbH Sitz: Frankfurt am Main HRB 44664 Geschäftsführer: Susumu Fujita

総合

EUと中国、EV追加関税巡る協議継続を確認.....	4
英乗用車生産、8月は8.4%減少	5

企業情報

自動車メーカー

プジョー「E-3008」と「E-5008」の長距離モデル、クラス最高の航続距離を確保	6
伊イベコと独ZF、バス輸送の脱炭素化で技術協力.....	6
スカニア、MINExpoに鉱山向け自動電気トラックを出展.....	7

部品メーカー

中国ラックスシェア、独レオニの過半数資本を取得	8
SKF、自動車事業の分離・上場計画を発表	9
パワーセル、伊造船大手から大型受注.....	9
SSAB、トレルボルグにゼロカーボン鋼材を供給へープレシムに採用.....	10
コンチネンタル、米国に初の自社所有タイヤ物流センターを建設.....	10

クローズアップ

H2Accelerate.....	11
-------------------	----

欧州自動車短信

ディープライブ、ライフ (Lhyfe) 、シェル	12
--------------------------------	----

一般・その他

フォンデアライエン欧州委員長、新体制の人事案発表	13
ペルフルオロヘキサン酸の使用を制限、化学物質規制に基づき	14
EUのクアルコム制裁、一般裁が妥当と判断	14
アップル基本ソフトの相互運用性に問題、EUが是正指導へ	15
欧州委によるグーグルへの制裁、一般裁が無効化	15
欧州委、加盟国に喫煙規制強化を勧告	15

テクノロジー・トレンド

現代自とシュコダ・グループ、水素分野の協力でMOU締結	16
-----------------------------------	----

目で見える欧州自動車産業ニュース

チェコ、乗用車生産・販売・輸出統計:2024年1~6月	17~18
-----------------------------------	-------

企業名索引.....9

欧州経済を伝える



FBCでは、読者の皆様と一緒に誌面作りに取り組みたいと考えております。
お気づきの点や率直なご意見・ご感想など、弊社カスタマーサポートまで
ぜひお気軽にお寄せください。

< FBCカスタマーサポート >

Tel : +49-(0)69-5480950 Email: info@fbc.de

FBC Business Consulting GmbH
August-Schanz-Str.8, 60433 Frankfurt/M/Germany

<http://www.fbc.de>

総合

EUと中国、EV 追加関税巡る協議継続を確認

欧州委員会のドムブロフスキス上級副委員長（通商担当）と中国の王文濤商務相は9月19日、ブリュッセルの欧州連合（EU）本部で会談し、EUによる中国製電気自動車（EV）への関税上乘せ問題について協議した。双方は追加関税が正式に適用され、大規模な貿易戦争に発展するのを避けるため、交渉を継続することを再確認。中国のEVメーカーがEUに輸出する製品に最低価格を設けるという案を軸に協議を進める。

欧州委は6月、中国で生産されるEVについて進めている反補助金調査について、メーカーが同国政府から不当な公的補助を受け、安値でEVをEUに輸出して域内の事業者を圧迫しているとする暫定調査結果を発表。現行の税率10%を大幅に引き上げる方針を打ち出している。

これに対して中国側は対抗措置として、EU産の豚肉、乳製品、ブランドーへの反ダンピング（不当廉売）または反補助金調査を開始。EUが25日に予定していた加盟国による採決で追加関税適用が承認されれば、中国側が標的とするEU製品への関税を上乘せする報復措置を発動するのが必至な情勢となっていた。

欧州委は12日、中国のEVメーカーが追加関税を避けるため提案したEUに輸出するEVに最低価格を設定するという妥協案を拒否したことを明らかにしていた。しかし、欧州委の報道官によると、今回のドムブロフスキス上級副委員長と王文濤商務相の協議では、双方が同意できる解決案の模索に向けた努力を強化することで一致。EUが一度は拒否した中国側の妥協案を念頭に、ぎりぎりまで話し合いを続けることで合意したという。今後の協議では、EUと中国がどの程度まで歩み寄ることができるかが焦点となる。

<AI22244>

ヨーロッパで

ビジネスパートナーを探したい…



>>> FBCにお任せください！

私たちはロングリスト・ショートリスト調査を通して
みなさまの欧州戦略を強力にサポートしています
欧州に攻め込むための最新の営業リストを作成します

英乗用車生産、8月は8.4%減少

英自動車工業会（SMMT）は9月26日、2024年8月の乗用車生産が4万1,271台となり、前年同月に比べ8.4%減少したと発表した。生産モデルの変更に伴う生産調整が減少の主因。1～8月の累計は、前年同期比8.5%減の52万2,823台だった。

8月の電動車（純電気自動車、プラグインハイブリッド車、ハイブリッド車）の生産は、前年同月に比べ25.9%減少し、全体に占める割合は29.6%に縮小した。ただ、長期的には、新モデルの発売に伴い、電動車の生産は増加に転じると見られている。

■ 商用車生産、8月は10.0%減少

SMMTによると、同国の8月の商用車生産は6,044台となり、前年同月に比べ10.0%減少した。ただ、8月は、夏季休暇による工場の操業停止により、生産台数が少なくなる傾向があり、前年同月比の減少は僅か673台だった。1～8月の累計生産は、前年同期比5.8%増の7万8,805台だった。これは、コロナ前の2019年同期の水準を72.3%上回っている。

英国、自動車生産：乗用車 2024年						
	8月			1～8月		
	2023年	2024年	変動率	2023年	2024年	変動率
合計	45,052	41,271	-8.4%	571,671	522,823	-8.5%
国内向け	8,010	6,421	-19.8%	111,425	125,093	12.3%
輸出	37,042	34,850	-5.9%	460,246	397,730	-13.6%
輸出比率	82.2%	84.4%		80.5%	76.1%	

出所：英自動車工業会（SMMT）

英国、自動車生産：商用車 2024年						
	8月			1～8月		
	2023年	2024年	変動率	2023年	2024年	変動率
合計	6,717	6,044	-10.0%	74,507	78,805	5.8%
国内向け	3,123	2,457	-21.3%	27,711	26,416	-4.7%
輸出	3,594	3,587	-0.2%	46,796	52,389	12.0%
輸出比率	53.5%	59.3%		62.8%	66.5%	

出所：英自動車工業会（SMMT）

<AI22245>

企業情報

■自動車メーカー■

プジョー「E-3008」と「E-5008」の長距離モデル、クラス最高の航続距離を確保

欧州自動車大手のステランティス傘下の仏プジョーは9月17日、新型の電動SUV「E-3008」と「E-5008」の長距離仕様（ロングレンジ）モデルはSUVとしてクラス最高の走行距離を確保していると発表した。最大航続距離は、「E-3008 230 ロングレンジ」が700キロメートル、「E-5008 230 ロングレンジ」は667キロメートル。両モデルとも容量96.9キロワット時（kWh）のバッテリーを搭載し、電動パワートレインの最大出力を標準モデルより13キロワット（kW）大きい170kWに高めている。

搭載するバッテリーは、ステランティス、メルセデスベンツ、エネルギー大手トタルエナジーズの電池合弁会社であるオートモティブ・セル・カンパニー（ACC）がフランスのビリー＝ベルクロー／ドゥヴラン工場で生産している。出力160kWの直流（DC）充電器を利用した場合、容量の20%から80%まで27分で充電できる。

「E-3008」と「E-5008」はステランティスの電動車用プラットフォーム「STLA ミディアム」をベースとしている。長距離仕様モデルも含めてプジョー独自のEV向け保証制度「アリュール・ケア（Allure Care）」プログラムの対象となる。

<AI22246>

伊イベコと独ZF、バス輸送の脱炭素化で技術協力

伊商用車大手のイベコ・グループは9月19日、バス部門のイベコ・バスが旅客輸送の脱炭素化で自動車部品大手の独ZFフリードリヒスハーフェンと戦略提携すると発表した。輸送分野を革新し、持続可能性を高めるため、電動化を軸にした革新的なeモビリティソリューションの開発で協力する。

イベコ・バスが進める包括的な電動化戦略に、ZFが持つ非化石燃料由来の駆動ソリューションに関する専門知識を取り入れ、次世代モデル向けのゼロエミッション・アーキテクチャを開発する。イベコ・バス部門の責任者ドメニコ・ヌセラ氏は、「電動化はバス業界の脱炭素化を図るうえで不可欠な要素だ。ZFと協力して次世代eモビリティソリューションの開発を加速する」と述べている。

両社の提携は独ハノーバーで開催された国際商用車見本市『IAA トランスポーターション』に合わせて発表された。

<AI22247>

スカニア、MINExpo に鉱山向け自動電気トラックを出展

独フォルクスワーゲン (VW) 傘下のスウェーデン商用車大手スカニアは9月20日、米ラスベガスで24日から26日まで開催される鉱山機械見本市「MINExpo」に、完全自律型の電気トラック「R 620 10x4」を出展すると発表した。同トラックはすでに受注活動を開始しており、2026年後半の納入を予定している。

「R 620 10x4」は、約1万2,000台が稼働しているスカニアの鉱山トラックのデータを基に積載効率を最大化。運搬のサイクルタイムの少なさ、低排出、高い安全性、輸送トン当たりのコストの低さなどにより、鉱山向け車両に求められる要件を満たしている。

スカニアは大型車両の電動化で業界をリードしている。同社は2025年までに自社の事業活動に伴う直接・間接排出量（スコープ1および2）を50%削減し、顧客による製品使用に伴う排出量（スコープ3）を20%削減することを目指している。

<AI22248>

FBCのロングリスト調査は



- ① 貴社の案件に合う対象企業をヨーロッパ全土から探します
- ② 全ての企業に貴社のプレゼン資料を送付
- ③ その後メール・電話で興味の有無を1件1件確認します

新たな**ビジネスパートナー**を探します

FBCのショートリスト調査は



- ① ロングリスト調査の結果、興味・関心を示した企業の担当者を割り出します
- ② 当該企業の主な取引先や競合他社などのデータも入手します
- ③ ショートリストとして提出します

このデータをもとに**即営業を開始**できます

SKF、自動車事業の分離・上場計画を発表

スウェーデンのベアリング大手 SKF は 9 月 17 日、取締役会が自動車事業を分離・上場する計画を決定したと発表した。独立した事業体とすることで、市場変化に対する迅速な決定や投資を可能にする。株主総会における承認などを経て、2026 年上半期にナスダック・ストックホルムに株式を公開する予定。

自動車部門の分離により、産業部門においても、当該分野の顧客ニーズに焦点を絞った戦略や経営資源の投入が可能になる。2023 年通期の自動車部門の純売上高は 300 億スウェーデンクローナ、営業利益率は 5.6%、産業部門の純売上高は 730 億スウェーデンクローナ、営業利益率は 15.4% だった。

SKF の株主は、Lex Asea 分配と呼ばれるスウェーデンの国内規制に基づいて、既存の保有株に相当する分社化した新組織の株式を非課税で受け取ることができる見通し。取締役会は 2026 年の株主総会で自動車事業の分離・上場計画を提案する予定。

<AI22250>

パワーセル、伊造船大手から大型受注

スウェーデンの燃料電池メーカー、パワーセル・スウェーデン（以下、パワーセル）は 9 月 24 日、イタリアの造船大手から大型受注を獲得したと発表した。受注総額は約 1 億 6,500 万スウェーデンクローナとなる。2025 年半ばに出荷を開始し、2025 年末までに納品を完了する予定。

今回の取引は、3 件の受注で構成されており、海洋用途向け発電システム「マリン・システム 225」を計 56 ユニット、供給する。大部分は商用クルーズ船向けで、船舶の内部電力システムの補助電源として、計 6.3 メガワット (MW) 超のシステムを供給する。このほかには、内部のテストベッド用に 3.2 MW、他の船舶用に 3.2 MW のシステムを供給する。

<AI22251>

■企業名索引

今週号のニュースで取り上げられた主な企業を対象としています。

Index

企業名	掲載頁		
Continental.....	10	Scania	7
Deepdrive.....	12	Shell.....	12
Hyundai Motor Company	16	SKF.....	9
Iveco	6	SSAB.....	10
Leoni.....	8	Skoda Group.....	16
Lhyfe.....	12	Stellantis, Peugeot	6
PowerCell.....	9	ZF Friedrichshafen	6

SSAB、トレルボルグにゼロカーボン鋼材を供給へヘブレスィムに採用

スウェーデン鉄鋼大手のSSABは9月18日、同国のゴム・自動車部品大手トレルボルグと、化石燃料を使わないゼロカーボン鋼材を供給することで合意したと発表した。トレルボルグはこの鋼材をブレーキパッドの鳴き止めプレート（シム）に使用する。

SSABのゼロカーボン鋼材には、化石燃料フリーの水素還元製鉄技術「ハイブリット（HYBRIT）」で製造した海綿鉄を原料とする「SSAB フォシル・フリー」と、再生用鋼材とグリーンエネルギーのみを用いて製鉄した「SSAB ゼロ」の2種類がある。このうち「SSAB ゼロ」は、自社の生産活動で直接発生する「スコープ1」、および外部から調達する電力、熱、蒸気などの生産で発生する「スコープ2」の二酸化炭素（CO2）排出量が、鉄鋼1キログラム（kg）あたり0.05kg未満ときわめて少ない特徴がある。

トレルボルグのシーリングソリューションズ事業部門（TSS）は、ゼロカーボン鋼材の導入により炭素排出量を大幅に減らした製品を展開していく方針だ。

<AI22252>

コンチネンタル、米国に初の自社所有タイヤ物流センターを建設

自動車部品大手の独コンチネンタルは9月18日、米テキサス州に初の自社所有のタイヤ物流センターを建設すると発表した。サービス水準と顧客サービスの向上が目的。収容能力は最大80万本で、9月中に着工し、2026年の稼働を予定する。現在、同社は全米7カ所の配送センターを通してサービスを提供している。

新センターはダラス市とフォートワース市からなる大都市圏ダラス・フォートワース・メトロプレックスに位置する。施設面積は約7万平方メートル。将来的に11万7,000平方メートルまで拡張できる。立地決定について同社は、高級タイヤ製品の配送ハブとしての重要性を理由に挙げている。

新物流センターは高度な自動化技術を導入するほか、ソーラーパネルの設置などを通じて持続可能性を高めていく。コンチネンタルは2050年までにバリューチェーンまで含めて完全なカーボンニュートラル（気候中立）の達成を目指している。

<AI22253>

必要な情報を収集します

30年間で培った「600件以上の調査実績」

各種調査はFBCにお任せください





H2Accelerate

大型トラック分野における脱炭素化に向けて水素燃料トラックの普及促進に取り組むコンソーシアム。現在は、商用車メーカーのダイムラー・トラック、イベコ・グループ、ボルボ・グループと、水素の生成・供給を事業とするリンデ、シェル、BP、トタルエナジーズ、TEAL モビリティが加盟している。

TEAL モビリティは9月17日、8番目のメンバーとしてコンソーシアムに加盟すると発表したばかり。TEAL モビリティは、リンデとトタルエナジーズが設立した合弁会社で、今後10年で欧州の幹線道路沿いに大型車両用の水素ステーションを100カ所以上、整備する目標を掲げている。

H2Accelerate は、主な取り組みとして、◇商用化前のプロジェクトなどに対する公的支援の確保◇ホワイトペーパーの発行などを通じた水素燃料トラック輸送の技術的・商業的実現可能性についての情報発信◇長距離トラック輸送のゼロエミッション化を促進するための政策立案者や規制当局との協議——などを実施している。

具体的な成果としては、H2Accelerate は2023年3月、欧州における水素燃料トラックの普及促進に取り組むプロジェクト「H2Accelerate TRUCKS」について、欧州連合（EU）のクリーン・ハイドロジェン・パートナーシップ・プログラムから資金支援を確保したと発表した。

当該プロジェクトには13のパートナーが参加しており、2029年までにダイムラー、イベコ、ボルボのトラックメーカー3社が150台の燃料電池トラックを欧州9カ国に供給する計画。

当該プロジェクトと並行して、シェル、トタルエナジーズ、デンマークのグリーン水素インフラ事業者であるエバーフューエルが大型トラック用の水素充填ステーションを整備するプロジェクトについても他の公的支援スキームから補助金を確保している。

— 競業企業の動向を定期的にウォッチします —

キーワードに沿って情報を「**クリッピング**」し

日本語に抄訳してご提供します

料金は月々1,000～3,000ユーロから



欧州自動車短信

■ 革新的な電気モーターを開発するミュンヘンのスタートアップ企業 **ディーブドライブ** は9月19日、投資ラウンド (B シリーズ) の実施により、3,000 万ユーロの資金を調達したと発表した。調達した資金は、同社が特許を保有する「ダブルローター・モーター技術」の量産化に向けた準備に充てる。ミュンヘン北部の新拠点に新しい生産ラインを構築する計画。2028 年には同社にとって最初の量産プロジェクトを開始する予定。同社が開発する電気モーターは、比較対象となる同類の製品と比べ効率が 20% 高く、製造コストも大幅に低くなるという。ディーブドライブは 2021 年の設立。これまでに 4,930 万ユーロの資金を調達している。

■ グリーン水素の製造・販売を事業とする **仏ライフ(Lhyfe)** は9月4日、水素供給スタンド網を建設・運営する合弁会社 H2 モビリティ・ドイチェラント(以下、H2 モビリティ)と水素供給に関する5年間の契約を締結したと発表した。具体的には、シュツットガルトの東部に位置するシュヴェービッシュ・グミュントで生成したグリーン水素を、H2 モビリティが運営するバーデン・ヴュルテンベルク州とラインラントプファルツ州にある4カ所の水素ステーションに供給する。最初に供給するのは、ルードヴィヒスハーフェンとフランケンタールにある水素ステーションとなる予定。

■ 英エネルギー大手の **シェル** はこのほど、ノルウェー西海岸で計画していたブルー水素の生成プラントの計画を撤回すると発表した。同社の広報担当者は、「ブルー水素市場がまだ具現化しておらず、プロジェクトの停止を決めた」と説明している。天然ガスから水素を生成し、その際に発生する二酸化炭素(CO2)を回収・貯蔵するブルー水素は、コストが高くなる課題がある。ノルウェーのエネルギー大手エクイノールも先ごろ、ノルウェーで生成したブルー水素をドイツに輸出する計画について、価格が高く、需要が不十分であるとして中止を発表している。シェルは、ノルウェーのアーカー・ホライゾズ、ケープオメガと協力し、ノルウェーにあるシェルのニーハムナ天然ガス処理プラント近くのオークラ水素ハブで、2030年までに1日あたり約1,200トンのブルー水素を生成する計画だった。

<AI22254>

必要な情報を収集します

30年間で培った「600件以上の調査実績」

各種調査はFBCにお任せください



一般・その他

フォンデアライエン欧州委員長、新体制の人事案発表

欧州委員会のフォンデアライエン委員長は9月17日、年内に新体制となる欧州委の閣僚に相当する欧州委員の人事案を発表した。要職の競争政策担当にスペインのテレサ・リベラ氏を起用するなど、重要ポストを大国のフランス、イタリア、スペインに割り振った。（表参照）

欧州委員会は欧州連合（EU）の内閣に相当する行政執行機関。委員長を含む27人の委員で構成される。加盟国が1人ずつ指名する候補者の担当分野を続投が決まったフォンデアライエン委員長が割り当てた。

フォンデアライエン委員長は2019年に発足した現在の欧州委で、地球温暖化対策を最重要課題に挙げていたが、今回は防衛、競争力強化を重視する意向を表明。新設される防衛担当委員にリトアニアのクビリウス氏を指名した。

また、巨大IT企業への規制などを主導する重要ポスト競争政策担当に、スペインのエネルギー・環境相を務めるリベラ氏を充てた。このほかの要職では、産業戦略担当委員にフランスのセジュールネ外相を起用する。イタリアは副委員長のポストを確保した。

一方、フォンデアライエン委員長はジェンダー平等を重視し、加盟国にできる限り女性を指名するよう要請していたが、女性委員は11人とどまった。

人事案は欧州議会の承認が必要。各候補者は欧州議会の公聴会での資格審査をパスする必要がある。

欧州委員の人選をめぐるっては、フランスは当初、ブルトン委員（域内市場・産業・デジタル単一市場担当）の留任を求めたが、フォンデアライエン委員長が拒否。これに抗議してブルトン氏が16日に委員辞任を表明し、政府が急遽、候補者をセジュールネ氏に差し替える一幕があった。

次期欧州委員の人事案

候補者	担当
テレサ・リベラ（スペイン）	競争政策（上級副委員長兼任）
ヘンナ・ヴィクルネン（フィンランド）	技術主権・安全保障・民主主義（上級副委員長兼任）
ステファヌ・セジュールネ（フランス）	繁栄・産業戦略（上級副委員長兼任）
カヤ・カラス（エストニア）	外務・安全保障政策（上級副委員長兼任）
ロクサナ・ムンザトゥ（ルーマニア）	人材・スキル（上級副委員長兼任）
ラファエレ・フィット（イタリア）	結束・改革（上級副委員長兼任）
マレシュ・ショフチェビチ（スロバキア）	貿易・経済安全保障
ヴァルデイス・ドムプロフスキス（ラトビア）	経済・生産性
ドゥブラヴカ・シュイツァ（クロアチア）	地中海
オリヴェール・ヴァールヘイ（ハンガリー）	保健・動物福祉
ウォプケ・フックストラ（オランダ）	気候・気候中立・クリーンな成長
アンドリウス・クビリウス（リトアニア）	防衛・宇宙
マルタ・コス（スロベニア）	EU拡大
ヨゼフ・スィーケラ（チェコ）	国際パートナーシップ
コスタス・カディス（キプロス）	漁業・海洋
マリア・ルイス・アルブケルケ（ポルトガル）	金融サービス
アジャ・ラビブ（ベルギー）	準備・危機管理
マグヌス・ブルナー（オーストリア）	内務・人の国際移動
ジェシカ・ロスウォール（スウェーデン）	環境・強靱な水資源・競争力のある循環経済
ピョートル・セラフィン（ポーランド）	予算・不正防止・行政
ダン・ヨルゼンケン（デンマーク）	エネルギー・住宅
エカテリーナ・ザハリエヴァ（ブルガリア）	研究・イノベーション
マイケル・マクグラス（アイルランド）	民主主義・司法・法の支配
アブストロス・ツィツィコスタス（ギリシャ）	持続可能な運輸・観光
クリストフ・ハンセン（ルクセンブルク）	農業・食料
グレン・ミカレフ（マルタ）	世代間の公平性・文化・青少年・スポーツ

* 人名、役職は駐日欧州連合代表部のウェブサイト上での表記に準拠

<AI2255>

ペルフルオロヘキサン酸の使用を制限、化学物質規制に基づき

欧州委員会は9月19日、欧州連合（EU）の化学物質規制「化学物質の登録、評価、認可および制限に関する規則（REACH）」に基づき、ペルフルオロヘキサン酸（PFHxA）の使用を制限すると発表した。

PFHxAは永遠に残る化学物質と呼ばれるPFAS（ペルフルオロアルキル化合物およびポリフルオロアルキル化合物）の一種。人体や環境への影響から、すでに域内での使用が禁止されているペルフルオロオクタン酸（PFOA）の代替品として、衣料品、レインコート、食品の包装材など多岐にわたる用途で利用されている。

これまでPFHxAはREACH規制の対象外だった。しかし、欧州委は欧州化学物質庁（ECHA）の見解に沿って、難分解性で水中で拡散しやすく、人体と環境に有害だとして、販売・使用を厳しく制限することを決定。衣料品、レインコート、食品包装、防水スプレー、化粧品、泡消火薬剤などへの使用を禁止する。半導体、グリーン水素製造用の電池、燃料電池など一部に関しては使用は特例として容認する。

この規制はEU官報掲載から20日後に施行される。代替価格物質への切り替えに一定の期間が必要なことを考慮し、使途に応じて18カ月～5年の猶予期間を設ける。

<AI22256>

EUのクアルコム制裁、一般裁が妥当と判断

EU司法裁判所の下級審に当たる一般裁判所は9月18日、EUが米半導体大手クアルコムに競争法違反で2億4,200万ユーロの制裁金支払いを命じた決定を妥当とする判決を下した。

欧州委員会は2019年、クアルコムの第3世代（3G）通信用チップセット販売をめぐる、市場での支配的地位を悪用し、2009年から11年半ばにかけて製造コストを下回る「略奪的価格」で供給し、同分野で急速にシェアを拡大しつつあった英アイセラ（現在は米エヌビディアの傘下）を市場から締め出そうとしたとして、制裁金支払いを命じた。

これに対してクアルコムは、欧州の第3世代移動通信システム「UMTS」で、スマートフォンやタブレット端末などの無線通信や信号を制御する「ベースバンドチップ」と呼ばれる半導体の同社のシェアが0.7%に過ぎず、ライバルを締め出すのは不可能として提訴していた。

一般裁判所は同社の主張を退け、欧州委の決定を支持した。ただ、制裁は2億4,200万ユーロから2億3,870万ユーロに小幅減額した。

<AI22257>



駐在員事務所代行サービス

欧州に事務所がなくても、
FBCが新規取引先の開拓や連絡、
貿易事務を代行します

アップル基本ソフトの相互運用性に問題、EU が是正指導へ

欧州委員会は9月19日、米アップルに対して、スマートフォン用などの基本ソフトの相互運用性に問題があるとして、是正を指導する手続きに着手したと発表した。巨大IT企業に対するEUの新規制「デジタル市場法（DMA）」に基づく措置となる。

「ゲートキーパー（門番）」と呼ばれる巨大プラットフォームを対象とするDMAでは、各社の基本ソフト（OS）の相互運用性の確保が義務付けられている。

欧州委が問題視したのは、スマートフォン「アイフォーン」などの基本ソフト「iOS」とタブレット端末「アイパッド（iPad）」の基本ソフト。他社製品との相互運用性が十分に確保できていないとして、是正を求める。

「Specification Proceeding」と称される同指導手続きは、各社にDMAのルールに違反している疑いがある場合に、対話を通じて指導し、順守に導くのが目的。DMAが発効してから同手続きが発動されるのは初めてだ。

「iOS」とアイパッドの基本ソフトに関しては、他社から相互運用の要請があった場合の対応なども含めて問題点を洗い出し、6カ月以内に具体的な対策を提示する。

<AI22258>

欧州委によるグーグルへの制裁、一般裁が無効化

欧州連合（EU）の下級審に当たる一般裁判所は9月18日、米グーグルがインターネット広告事業でEU競争法に違反したとして、14億9,000万ユーロの制裁金支払いを命じた欧州委員会の決定を無効とする判決を下した。

欧州委2019年3月、グーグルの検索連動型広告で、同社と提携関係にある外部サイトの検索結果画面にテキスト形式の広告を表示する「アドセンス」をめぐる、市場支配的地位を乱用し、06年から16年にかけて同社の広告配信サービスを利用する第三者のサイトがグーグルと競合する事業者が配信する広告を掲載することを禁止したほか、グーグルが配信する広告を最も目立つスペースに掲載するよう義務付けていたなどとして、EU競争法違反で制裁金支払いを命じた。これを不服とするグーグルがEU司法裁判所の一般裁判所に提訴していた。

一般裁判所は、欧州委はグーグルが支配的地位を乱用していたことを十分に立証していないとして、グーグルの主張を認め、制裁決定を無効とする判断を示した。

<AI22259>

欧州委、加盟国に喫煙規制強化を勧告

欧州委員会は9月17日、欧州連合（EU）加盟国に対して喫煙規制を強化するよう勧告した。受動喫煙による健康被害を防ぐのが目的で、禁煙エリアの拡大を求めている。

EUでは喫煙規制が各国の裁量に委ねられるため、欧州委は法的拘束力がない勧告の形で規制環境の強化を進めている。

欧州委は既存の勧告を改訂し、屋外の禁煙エリアを拡大するよう促した。子供や若者が多く集まる遊び場、遊園地、プールや、医療・教育施設や公共施設、駅などに隣接する屋外エリアを対象に含めることを提言している。

このほか、加熱式たばこや電子たばこなども一般のたばこと同じ扱いとし、禁煙エリアでの利用を禁止するよう勧告した。

EUによると、域内では毎年70万人が喫煙による健康被害で死亡している。うち受動喫煙によるものは数万人規模に上るといふ。

<AI22260>



テクノロジー・トレンド

技術大国ドイツを中心に
注目の技術情報を集めています。

現代自とシュコダ・グループ、水素分野の協力で MOU 締結

韓国の現代自動車は9月20日、プラハで開催された韓国・チェコ・ビジネス・サミットで、バス・鉄道車両を製造するチェコのシュコダ・グループと水素モビリティ・エコシステム（ビジネス生態系）の構築で協力する覚書（MOU）を締結したと発表した。シュコダ・グループのモビリティ製品・プロジェクトへの現代自動車の燃料電池技術の導入や、モビリティ以外の用途における燃料電池システムの活用に関するフイージビリティスタディ（実現可能性調査）の実施などで協力する。

今回の MOU には、具体的には、◇燃料電池システムおよび燃料電池技術の導入に関する調査の実施◇モビリティ製品・プロジェクトへのエネルギー効率ソリューションの導入に関する調査の実施◇モビリティ分野を超えた水素エコシステム（ビジネス生態系）およびバリューチェーン（価値連鎖）を構築する機会の模索——などが含まれている。

両社は、モビリティ分野をはじめ、水素が将来の持続可能社会の主要な柱の一つになるという見解を共有する。MOUの一環として、現代自の燃料電池システム・技術を共有し、シュコダ・グループが事業展開するチェコを含む世界市場における持続可能なモビリティの導入を加速する。

現代自は2020年末に新たなブランド「HTWO」を立ち上げ、水素社会の構築に向けた包括的な水素バリューチェーン事業を展開している。



出所:Hyundai Motor Company

<AI22261>

情報の少ない中東欧やロシア
CIS、トルコの経済動向を
お伝えしています



東欧経済ニュースを読んで
情報を集めよう

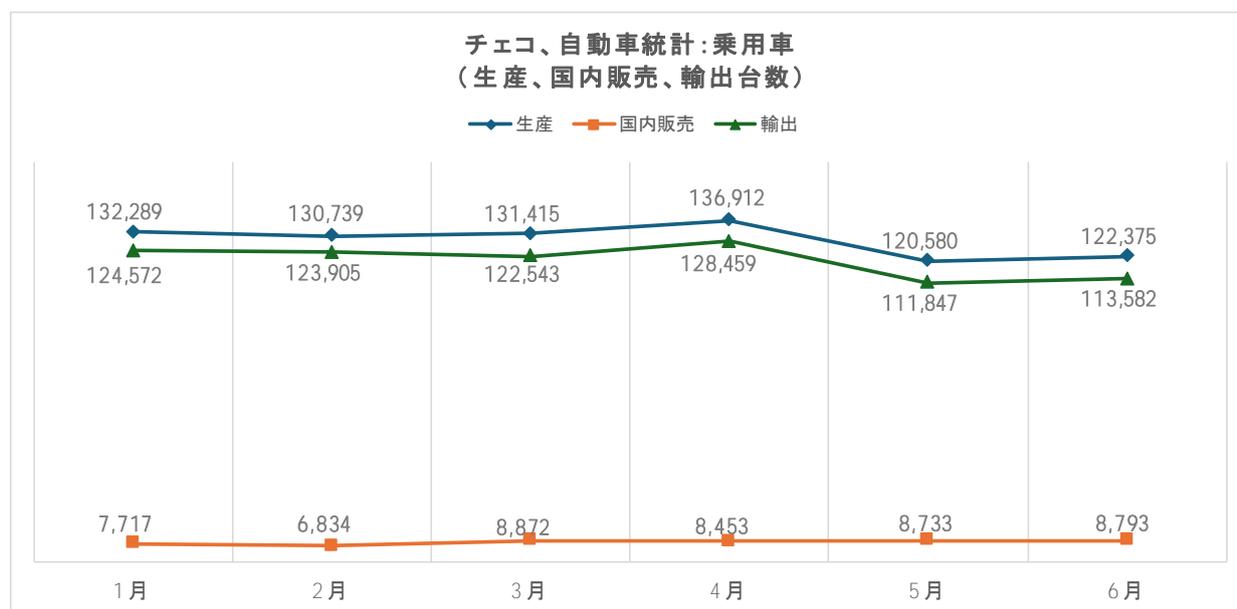


目で見える欧州自動車産業ニュース

チェコ、乗用車生産・販売・輸出統計：2024年1～6月

チェコ、自動車統計：乗用車（生産、国内販売、輸出台数）									
	1月	2月	3月	4月	5月	6月	2024年1～6月	2023年1～6月	前年同期比
生産	132,289	130,739	131,415	136,912	120,580	122,375	774,310	738,454	4.9%
国内販売	7,717	6,834	8,872	8,453	8,733	8,793	51,031	53,384	-4.4%
輸出	124,572	123,905	122,543	128,459	111,847	113,582	723,279	685,070	5.6%

出所：チェコ自動車工業会（SAP）



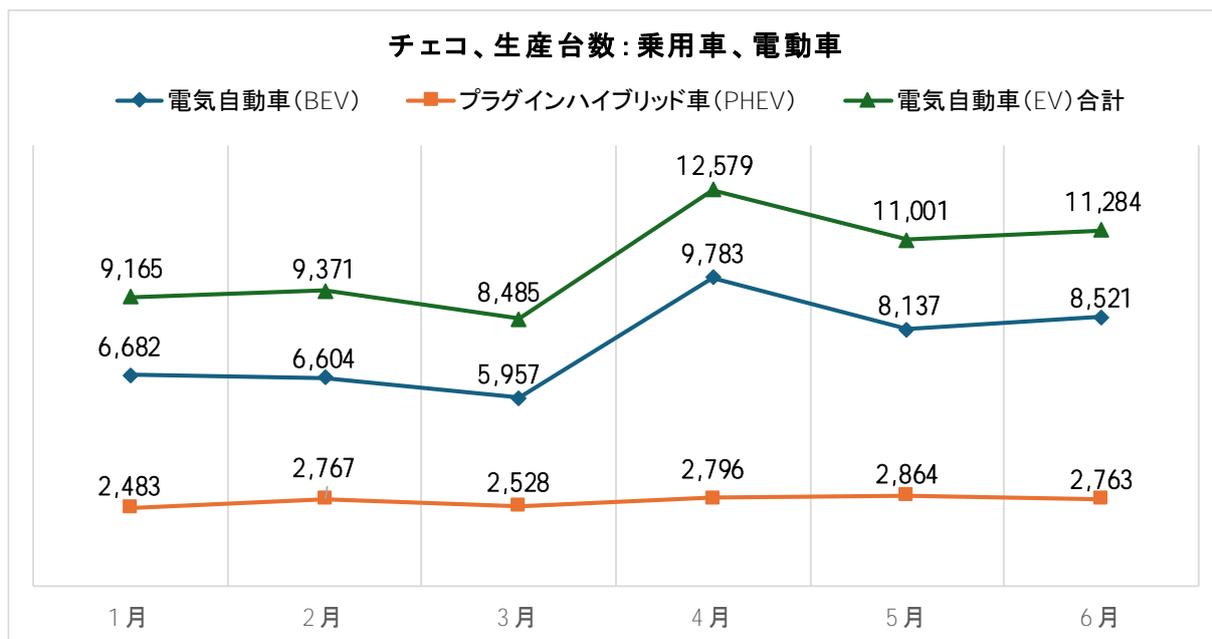
出所：チェコ自動車工業会（SAP）

チェコ、自動車統計：乗用車（生産、国内販売、輸出台数）									
メーカー別									
	シュコダ自動車			現代自動車			トヨタ自動車		
	2023年1～6月	2024年1～6月	前年同期比	2023年1～6月	2024年1～6月	前年同期比	2023年1～6月	2024年1～6月	前年同期比
生産	464,353	473,582	2.0%	177,100	175,950	-0.6%	97,001	124,778	28.6%
国内販売	43,922	41,268	-6.0%	7,542	8,460	12.2%	1,920	1,303	-32.1%
輸出	420,431	432,314	2.8%	169,558	167,490	-1.2%	95,081	123,475	29.9%

出所：チェコ自動車工業会（SAP）

チェコ、生産台数：乗用車、電動車									
	1月	2月	3月	4月	5月	6月	2024年1～6月	2023年1～6月	前年同期比
電気自動車(BEV)	6,682	6,604	5,957	9,783	8,137	8,521	45,684	66,771	-31.6%
プラグインハイブリッド車(PHEV)	2,483	2,767	2,528	2,796	2,864	2,763	16,201	24,514	-33.9%
電気自動車(EV)合計	9,165	9,371	8,485	12,579	11,001	11,284	61,885	91,285	-32.2%

出所：チェコ自動車工業会(SAP)



出所：チェコ自動車工業会(SAP)

チェコ、生産台数：乗用車、電動車 メーカー別						
	シュコダ自動車			現代自動車		
	2023年 1～6月	2024年 1～6月	前年同期比	2023年 1～6月	2024年 1～6月	前年同期比
電気自動車(BEV)	44,442	27,577	-37.9%	22,329	18,107	-18.9%
プラグインハイブリッド車(PHEV)	8,958	5,233	-41.6%	15,556	10,968	-29.5%
電気自動車(EV)合計	53,400	32,810	-38.6%	37,885	29,075	-23.3%

出所：チェコ自動車工業会(SAP)

<AI22262>